

No. 1369

ビルの谷間の入学式

— 東京・銀座 —

東京都内のほとんどの小学校では4月7日が昭和55年度の入学式。ビルの立ち並ぶ銀座の裏通りにある泰明小学校でもこの日入学式が行われた。ドーナツ現象で都心の人口は減少の一途をたどり、今年入学したのは54名。全校児童数こそ、ここ数年横ばいだが、昨年に比べ20名ほど少なかった。明治11年に創立され、長い歴史と伝統を持つ泰明小学校。数多くの卒業生のなかには北村透谷、島崎藤村をはじめ、河原崎国太郎、岡田嘉子さん等がいた。そして昭和49年には一世紀にわたる卒業生を集めて記念すべき同窓会も開れた。かつては多くの児童が泰明のその名のとおり学業にはげみ知徳を磨き天下一等の人物となるべく通った泰明小学校、児童数は少なくなってもその伝統はいまも生きているようだ。

うなごうじ祭

— 愛知・豊川 —

愛知県豊川市牛久保町。4月5・6の両日。町内では若葉祭りが行なわれました。今から500年前の戦国時代、牛久保城主が領民を城に招いて酒をふるまったところ、領民は酔いつぶれてしまい、ところかまわず寝ころんでしまいました。そんなところから“うなごうじ祭”ともいわれ全国でも奇祭の一つとして有名です。城主に感謝の意を表わすため行なわれ、今日まで続いています。

プロ野球開幕

1980年度プロ野球公式戦は4月5日、セ・パ両リーグ一斉に開幕、ナゴヤ球場では中日対ヤクルトの試合が行なわれました。中日は昨年の新人王に輝いた藤沢が先発。しかし藤沢は開幕のプレッシャーがかかるのか、今ひとつ球が走らず、ヤクルトは一回からチャンスをつかみます。5番杉浦は右中間にタイムリーヒット。角がかえってまず一点。2回も三塁打の大矢を渡辺がかえして、こきざみに加点、2対0とリードします。これに対し中日はにが手の鈴木に沈黙。7回まで零行進。8回やっと疲れの見える鈴木をとらえます。3番ジョーンズがヒットで出塁、4番大島も死球、ノーアウト二塁・一塁。逆転のチャンス。しかし5番井上は三振、ギャレットの併殺くずれの間にジョーンズがホームインし、一点。9回、ヤクルトの武上新人監督は井原をリリーフに送る手がい用兵で、勝星でスタート。いよいよプロ野球のシーズンを迎えました。